

■相馬黒光 東京新宿(中村屋)の女主人。夫とともに芸術家を支援し、〈大正デモクラシー〉を代表するサロンとなった。

そうまこっこう

三つの反乱・1876＝ 仙台に藩士の孫として生まれた。本名良。

明治14年政変1881＝ 5歳：

岩倉具視没・1883＝ 7歳：小学校初等科に入学し、押川方義が創設した仙台教会に通い始める。

秩父事件・・1884＝ 8歳：祖父が死去。

内閣発足・・1885＝ 9歳：

帝国大学始・1886＝10歳：卒業したが、家が没落して上級小学校に進めず、裁縫学校に通う。

国民之友始・1887＝11歳：小学校高等科に入学。

帝国憲法発布1889＝13歳：姉が心を病んで東京から帰郷。押川方義から受洗してキリスト教徒となる。

帝国議会始・1890＝14歳：卒業。布施淡と初恋。

足尾鉋毒始・1891＝15歳：父が死去。宮城女学校に入学。

大本教・・・1892＝16歳：学校の教育方針に異議申し立ての後、自主退学して上京。叔母宅に滞在して開明の気風を知る。フェリス和英女学校に入るが失望。

日清戦争始・1894＝18歳：文学に憧れて鎌倉に星野天知を訪ねる。

日清戦争終・1895＝19歳：フェリスを退学。明治女学校に入学し、松本出身のキリスト者で社会改良運動家相馬愛蔵を紹介される。

白馬会・・・1896＝20歳：新聞の中傷記事で傷つく。布施淡の婚約を知り、愛蔵との結婚を考える。従妹佐々城信子と国木田独歩の離婚問題に撒き込まれる。

八幡製鉄始・1897＝21歳：明治女学校を卒業し、愛蔵と結婚し、穂高に輿入れして、養蚕を手伝うなどする。

子規句歌革新1898＝22歳：長女誕生。

Bushidou・・1899＝23歳：手術で入院中、愛蔵の若い同志で東京で絵を学んでいた荻原守衛の見舞いを受ける。

ピアノ国産化・1900＝24歳：長男誕生。黒光の筆名をもらう。田舎の風習や婚家の気風になじまず、倦怠感にも襲われていたが、

田中正造直訴1901＝25歳：布施淡・叔母・姉の相次ぐ死を知り、*心身ともに病み、脱出上京。東大前のパン屋中村屋を購入して開業。(旧士族の娘で明治女学校を卒業したような人にとっては考えられないようなだい転換であった)

日比谷公園・1903＝27歳：もともとこの店がそれなりの成績を上げていたこともあって、売り上げ順調に伸びる。

日露戦争始・1904＝28歳：次女誕生。母が死去。クリームパン、クリームワッフルが評判になる。

日露戦争終・1905＝29歳：

満鉄発足・・1906＝30歳：次男誕生。

韓国反日暴動1907＝31歳：三男誕生するが、早世。新宿に支店開設。東京の西郊への発展も幸いして事業はますます軌道に乗る。

アラビヤ創刊・1908＝32歳：フランスから戻った荻原守衛が新宿にアトリエを新築、黒光に恋心を寄せる。

伊藤博文暗殺1909＝33歳：四男誕生。*新宿の店を現在の所に移転して、本店とする。荻原守衛、中村彝ら美術家や文学者などが出入りし始め、中村屋はサロンの様相を呈する。山手のインテリ層を中心に顧客をひろめた。

韓国併合・・1910＝34歳：次男逝く。三女誕生。荻原守衛も黒光をイメージした「女」を最後に逝き、黒光に非難の声が上がる。

大逆事件判決1911＝35歳：病になるも、五男誕生。住居の一部を市電ストライキの作戦本部に提供。

明治天皇没・1912＝36歳：ロシア文学の研究を始める。中村彝が中村屋敷地内のアトリエに住む。

第一次大戦始1914＝38歳：四女誕生。

21ヶ条要求・1915＝39歳：中村彝が長女に結婚せまり不和になる。頭山満の計らいでインド独立運動家R. B. ボースを店内に匿う。

民本主義・・1916＝40歳：ロシア人の盲目の詩人エロシエンコ食客となる。

本格政党内閣1918＝42歳：頭山満の要請でR. B. ボースに長女を嫁がせた。

ペキン条約・1919＝43歳：義父が死去。三・一独立運動に関わった朝鮮人林圭と朴順天を預かる。エロシエンコ再び食客となる。

原敬首相暗殺1921＝45歳：エロシエンコに退去命令が下り警官が侵入。警察を訴えて署長を辞職に追い込む。

水平社結成・1922＝46歳：夫と共に、朝鮮・中国を旅行。

関東大震災・1923＝47歳：劇団(先駆座)創設。ボースが日本に帰化。関東大震災でパンなど廉価販売。中村屋を株式会社にする。

護憲三派圧勝1924＝48歳：中村彝逝く。

治安維持法・1925＝49歳：長女逝く。この年から渡辺海旭に師事。

金融恐慌・・1927＝51歳：夫婦で中国旅行。中村屋に喫茶部を設け、ボース指導のカリーライスを販売。

共産党事件・1928＝52歳：押川方義逝く。

世界恐慌・・1929＝53歳：四男がアマゾンで死去。

海軍軍縮条約1930＝54歳：左翼運動に加わっていた五男に退学を命じ、家から追う。五男、店の金を奪う。社内報(中村屋)創刊。

満州事変・・1931＝55歳：

五一五事件・1932＝56歳：五男検挙され、さらに刑務所に拘束される。

国際連盟脱退1933＝57歳：渡辺海旭逝く。豪邸に転居。羽仁もと子の依頼で思い出の口述を始め、

帝人疑獄事件1934＝58歳：五男帰宅。{婦人之友}に自伝「黙移」が連載される。

芥川直木賞始1935＝59歳：五男と激しく争う(威圧的な母に対する家庭内暴力)。五男四国遍路をして目が醒める。

二二六事件・1936＝60歳：五男昭和医専に入学。「黙移」出版。

日中戦争始・1937＝61歳：店員のための青年学校を開校。

第二次大戦始1939＝63歳：「広瀬川の畔」出版。中村屋絶頂に達し、株式を公開するが、

大政翼賛会・1940＝64歳：「明治初期の三女性」出版。物資統制・店員応召で中村屋衰退。自らも豪邸から転居。一時重体。

日米開戦・・1941＝65歳：「夫婦教育」出版。

創価学会検挙1943＝67歳：五男軍医として中国へ赴任。ボースも出立するが、病んで帰国。

年金+総武装1944＝68歳：「穂高高原」出版。転居。頭山満逝く。

敗戦・・・1945＝69歳：ボース逝く。疎開。*空襲で中村屋、自宅など全焼。孫二人が戦死。

新憲法公布・1946＝70歳：三鷹に転居。

新憲法施行・1947＝71歳：中村屋が愛蔵を会長、長男を社長に新発足(自身は相談役)し、

極東裁判決・1948＝72歳：復興開店。

朝鮮戦争始・1950＝74歳：調布に新居完成、{黒光庵}と名付ける。

独立回復・・1951＝75歳：

メデー事件・1952＝76歳：愛蔵、手足と発音に支障をきたす。夫婦共著「晩霜」出版。

TV放送始・・1953＝77歳：長男との共著で、ボース伝「アジアのめざめ」出版。

自衛隊発足・1954＝78歳：夫愛蔵が死去。(黒光が自由に活動できたのは、彼の包容力が大きかったことによる)「麻文仁の石」出版。朝日新聞「きのうきょう」欄に執筆。

55年体制始・1955＝79歳：*私財を投入して設立を意願していた老人ホーム{浴風園}の設計が成った後、没した。白井吉見「安曇野」に、その生き様が描かれた。

宇佐美承「相馬黒光」，「黙移・相馬黒光自伝」，「この人どんな人」，平凡社百科事典，「目でみる日本人物百科」，「日本の女性」，